修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　白滝未紀
東京都千代田区西神田
1丁目3番地（幅ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）36337

財団法人 全国修学旅行研究協会
創立10周年第二記念号

財団法人 全修協・創立10周年
栄光の記念式典開く

喜びをわかち合う
菊花かおる感激の日

十一月八日、財団法人全国修学旅行研究協会は輝く十周年を迎え、その記念式典を東京・文京の茗渓会館で盛大に挙行した。時も会場も十年前とまったく同じ、この日のために全国から馳せ参じた役員、各都道府県支部長の感慨はいかばかりであったろう。白菊の花の映える壇上から〃十年の歴史を基盤としてさらに飛躍の時代へ〃とかたい決意を述べる山本理事長の手も感動にふるえているかのようだった。諸官庁、教育界、運輸関係、協力団体などからの来賓は心からの祝福をおくり、二百数十名の参列者で埋まる式場はただ喜びの一色にぬりつぶされた。（写真は決意をのべる山本理事長）

秋晴れのこの日、文京大塚の茗渓会館の式場には早くから来賓や各支部長が続々と参集、開式をまつ。

定刻午前十時、永井常務理事の開式の辞からはじまり、修学旅行による物故者に対して黙祈が捧げられたあと、「今後、あらゆる努力をつくして事故を起さぬよう」と誓いの言葉を永井常務が力強く述べた。

続いて山本理事長が立ち「修学旅行という教育の営みを完全なものにするため、われわれは十年間の努力を重ねてきたが、現在のはげしい交通戦争の真只中で、いかにより安全で教育的に行なうかの困難な課題を抱えている。われわれは十周年を契機として、明日のための修学旅行をいかに育てるかに対して邁進するのみである」と決意を語った。

白滝理事（事務局長）は全修協の活動について述べ、そのなかでとくに四十二年度事業の基本態度として①修学旅行の改善進歩のため教育性の探求と向上、安全性の追求と確保、経済上の要求と実現を期したい。②教職員研修旅行の質の充実と量の拡大を図る③運動組織の拡充と広報活動を強力に展開するの三点をあげ、これに対する各界の協力を要望した。

記念式場と祝辞をのべる石川文部省中等教育課長（文京・茗渓会館で）

つぎに事務局員の永年勤続者表彰が行なわれ、事務局次長兼調査研究部長山本実、総務部長加藤為治、業務部長福井彰二、名古屋事務所長宮本秀吉、総務部経理主任金谷幸子の諸氏に山本理事長から表彰状と記念品がおくられた。

来賓祝辞では先ず文部省初中局中等教育課長石川二郎氏が全修協の十周年を祝したあと「修学旅行の問題は最近ますます複雑となり実施面でも改善を要する点も少くない。文部省としても各機関と協力し、その対策にあたりたい」と述べた。続いて衆議院議員原田憲（代読）、参議院議員岡三郎、都教育長小尾乕雄（代読）、衆議院議員山中吾郎、都知事東竜太郎（代読）、大阪府知事左藤義詮（代読）、毎日新聞編集局次長稲野治兵衛、全国高校長協会長成田喜英、全国連合小学校長会長近藤修博（代読）、全国教職員互助団体協議会長吉田勇、近畿日本鉄道株式会社社長佐伯勇（代読）、近畿日本ツーリスト株式会社社長久保常明、日本教育公務員弘済会専務理事寺田銕氏らがそれぞれ全修協十周年を讃えた。

仲沢常務理事は各界から寄せられた祝電を披露、最後に宍戸常務理事が閉会の辞を述べた。続いて別室で祝賀パーティが行なわれ、感激と喜びの盃をくみ交わし、ここに栄えの十周年記念式典は終了した。

おもな参列者

（敬称略、順不同）石川二郎（文部省中等教育課長）原田憲（衆院議員＝代理大桑啓仁秘書）吉田勇（全国教職員互助団体協議会長）小尾乕雄（都教育長＝代理指導部西村光矩主査）徳橋善四郎（埼玉県中学校修旅委員会運営委員長）斎藤実（同委員）林武次（国鉄常務理事）菊地光（栃木県中学校修旅委員会運営委員長）塚田武男（同委員）佐伯勇（近畿日本鉄道株式会社社長＝代理田中健之助専務）真下孝雄（読売新聞社調査部）徳島康史（同）左藤義詮（大阪府知事＝代理福岡東京事務所長）佐々部承象（小学館常務取締役）田実渉（三菱銀行頭取＝代理中山広報課長）菊地豊三郎（日本修学旅行協会長＝代理犬丸事務局長）高月辰佳（全修協旧支部長）清水宣雄（日本移動教室協会理事長）東竜太郎（都知事＝代理加藤広報室主幹）渡辺公平（交通新聞社編集局長）高橋義人（大阪府議会議員）長谷川重三郎（第一銀行頭取＝代理片桐神田支店長）渋川泰之（同神田支店）山崎正晴（全修協旧役員）久保常明（近畿日本ツーリスト株式会社社長）山中吾郎（衆院議員）成田喜英（全国高校長協会長）岡三郎（参院議員）近藤修博（全国連合小学校長会長＝代理石井勘七事務局長）寺田銕（日本教育公務員弘済会専務理事）赤坂繁太（東京青年文化会館専務理事）一色準一郎（同支配人）宮内与三郎（全国連合退職校長会長）植草平八郎（都教育信用金庫理事長）安部欣一（日本教育公務員弘済会事務局長）飯田正雄（茨城県中学校修旅委員会運営委員長）和田一郎（同委員）立花欣一（関西汽船株式会社船客部長、近畿地区高校修旅専用船運営協事務局長）小貫四郎（水戸市立三中校長）長谷川茂（関西汽船株式会社社長＝代理＝加藤東京支社長）有村治峯（大島運輸株式会社社長）西田富士雄（同庶務課長）田中健之助（近畿日本鉄道専務取締役）稲野治兵衛（毎日新聞東京本社編集局次長）加藤正男（関西汽船東京支社長）木田甲子郎（同旅客課長）高塚暁（NHK通信教育部長）簗瀬寿（関汽交通社長）伊藤収蔵（旧役員）幅栄作（幅商店社長）川崎種三郎（日本生協連合会常務理事）糸井一（京都府教職員互助組合理事長）岡崎忠七（都公立学校修旅委員会運営委員長）寛中静雄（新聞部顧問）中原末弘（旧職員）

祝電

（敬称略、順不同）

▽小林茂（全日本中学校長会長）▽武田義三（池田市長）▽田中忠治（秋田県議会議員）▽鎌田庄蔵（大阪府教育長）▽長谷川正三（衆議院議員）▽中馬馨（大阪市長）▽辻原弘市（衆議院議員）▽小畑勇二郎（秋田県知事）▽坂田道太（衆議院議員）▽竹内俊吉（青森県知事）▽渡辺鉡一（大阪府中学校修学旅行委員会運営委員長）▽湯山勇（衆議院議員）▽横路節雄（衆議院議員）▽村上望城（全修協熊本県支部長）▽軍司直次郎（茨城県教育長）▽高橋公勇（奈良交通株式会社社長）▽揚妻政（山形県教育旅行懇話会会長）▽関汽交通社▽伊藤磐（三重県中学校長会会長）▽荒金啓治（別府市長）▽伊藤好道（SKB工業取締役）▽高橋重信（衆議院議員）▽黒田邦博（栃木県連合教育会）▽水川清一（大阪音楽大学学長）▽本所仁也（近畿あおぞら運営協議会会長）▽渡辺鉡一（近畿中学校修学旅行委員会運営委員長）▽鵜崎多一（福岡県知事）▽福永健司（衆議院議員）▽黒金泰美（衆議院議員）▽奈良県教職員互助組合▽加藤清二（衆議院議員）▽田尻貴（全修協宮崎県支部長）▽小松幹（衆議院議員）▽長野県学校生活協同組合▽二宮武夫（衆議院議員）▽堀江駒太郎（大阪府立高等学校長協会理事長）▽永田亮一（衆議院議員）▽近畿地区高校修学旅行専用船運営協議会▽内藤誉三郎（参議院議員）▽赤間文三（参議院議員）▽馬場勇（近畿日本ツーリスト株式会社副社長）▽野原覚（衆議院議員）▽小野明（参議院議員）▽松永忠二（参議院議員）▽成瀬幡治（参議院議員）▽佐藤哲衛（近畿日本ツーリスト株式会社事務管理部長）▽石川浩蔵（全修協大阪支部長）▽木原[illegible]（近畿日本ツーリスト株式会社人事部長）▽奈良県教職員互助組合

第8回総会開かる
研旅に8000名獲得へ

財団法人全修協の第八回総会は記念式典に続いて翌九日午前八時から熱海市大野屋に全役員、各支部長および協力機関が出席して開催、八議案をそれぞれ審議決定、正午終了した。このうち第四号議案「昭和四十二年度研修旅行実施計画に関する件」は来年第十一回目を迎える教職員研修旅行に関するものだけに真剣な検討がおこなわれた結果、目標数の八千名獲得を全員で誓い合った。

また、鳥取県支部長伊佐田甚蔵氏が地方教育の功労者として勲五等双光旭日章の叙勲を受けたことにたいし満場一致で祝意の決議をおこない、伊佐田氏は「全修協十周年の喜びと重なってこんなうれしいことはない。これからもがんばりたい」と語った。

祝　財団法人　全国修学旅行研究協会　創立10周年

修学旅行は　名神ハイウェイを

最高のサービス……時速100キロ・冷暖房完備
リクライニングシート・座席確保

最低の運賃……名古屋―京都 2時間26分
新大阪 2時間50分
神戸 3時間31分

比良比叡の霊峰、犬山彦根の古城、さては奈良京都の古き良さを今に残す古寺やみ仏の数々等、白鳳天平からの古美術の静かなたたずまいを訪ねて、日本のふるさとを知る若人の想い出の旅のスケジュールに是非快適な名神ハイウエイバスツアーをお加え下さい。

お問合せ・お申込予約は当社へ
大阪市天王寺区上本町6―1―1
日本高速バス　TEL 大阪 771―6637～8　名古屋 521―8371～2

●東京の新名所
修学旅行からパーティまで………1000名様収容
早朝朝食OK　¥150より
屋内総合体育館の見学は午前8時から出来ます

NHK総合放送センター隣り
代々木 国立競技場大食堂 グリルF&L（レストランモテル箱根改め）
お申込み、お問い合わせは………有名旅行斡旋業者へ
（株）フジランド　東京都新宿区河田町7　フジテレビジョン内　TEL(353)1411(代)

喜びに寄せて

【順不同】

専用宿舎建設に取り組む

岡本　仁

全修協の努力で、専用電車や汽船ができて、快適・安全な修学旅行の足が確保されたことは同慶にたえないところであります。

残る大きな問題は宿舎であります。本年四月、近畿二府四県と三重県をふくむ高等学校修学旅行研究大会がもたれたとき、〃修学旅行専用宿舎〃の建設を各方面に要望することを満場一致で決議しました。

修学旅行を教育的に完成する修学旅行専用宿舎を建設する機関に対して、政府、地方公共団体は公有地を貸与し、低利で融資すべきでありますし、経営には利潤追求は許されません。かかる見地において、全修協は全機能をあげてこれらの課題達成のため大いに努力したいと念願しております。全修協創立十周年を機に各界からのご支援を切望する次第です。（常務理事・兵庫県支部長）

記念にぜひ山形方式を

完戸　一郎

教職員の研修旅行は単なる観光旅行でなく、教育上必須の修学旅行指導者としての研修が目的である。教師自らが、自然や文化財の視察、旅行中のマナーに至るまで十分な訓練、研修をつむことが先決で、研修旅行はその総合計画も含めて、教師にとって必要不可欠の問題である。だから、これに公費の補助を与えることが当然の行政措置と申さねばならない。わが山形県は貧弱な県ではあるが、互助会の事業費として堂々と公費を打ち出していることは、教育上の価値を高く評価している証拠である。全修協創立十周年記念の一事業として、全国的にこの「山形方式」を、各支部でかちとられんことを切望してやまない。（理事・山形県支部長）

今後も力を合わせて

大谷　久満

全修協創立十周年、本当におめでとう。学校生活で一番想い出となる修学旅行は教育計画の一環として極めて重要な行事であることは、いうまでもありません。

修学旅行を安全かつ有効にするための調査研究と教育効果の充実向上を期待しております。

人口減少率が日本一である恵まれない島根県の子どものため「なくてはならない全修協」にするため、お互に力を合せて努力したいと思います。（島根県支部長）

伝統と実績を生かして

宮腰　春吉

基礎いよいよ固まり、内容充実をみた協会がここに十周年記念式をあげ、これを契機として一大飛躍を画すことはまことに慶祝の至りである。

世の中には有益な仕事がたくさんある。成し得る人も相当におる。しかし、成しとげる人は稀れである。信念の人、山本理事長はまさにその人である。役員、関係各位とともに今日まで育てられたご功績は絶大なもので、感激のほかはない。

問題と苦労も多い修学旅行の改善と向上の実あがり、研究体制、企画、施策の当を得て安全度、有益度はいよいよ増して喜ばれる今日となった。一方、研修旅行は北海道から九州、香港まで広範囲に行なわれ、すでに四万を越えた指導者が養成されて全国に活躍されていることは一大痛快事である。

この事業の重大性がますます認められて、国、県をはじめ各方面が力を入れられてきた今日、協会は今までの伝統と実績を生かし、新機軸を開き、先見性を発揮して肩幅ひろく邁進すべきときだと思う。協会、関係会社、後援団体が一体となり強化努力し、一層の発展を期するものである。われわれは誇りをもって前進を誓い、全修協十周年の祝意を表すしだいである。（新潟県支部長）

新しいいぶきを与う

盛田三喜雄

全修協創立十周年を迎えて、心から祝意を表します。

私が地方支部の責任者としてこの間、山本理事長を中心に同志的愛情に守られて今日に至ったことこころよく感じております。

ころ十年間の全修協の足あと—科学的な調査研究に基づき、修学旅行に教育的な、安全快適な新しいいぶきを与えたこと。そのための重要な条件として、各地方に専用列車や電車、さらに専用汽船の建造にみる全修協の発想、努力—は高く評価さるべきものと思います。

創立十周年を祝うとともに、これを契機として一層の発展を期するものであります。（青森県支部長）

情熱傾けたこの十年

田尻　貫

全修協は修学旅行の改善をたて糸とし、専用列車や船を生み出し常に修学旅行の教育的意義の高揚に努力してきた。まずこの十年の歩みに敬意を表したい。また、同志愛をよこ糸として強く結ばれ、なんら報いられることなく情熱を傾けたその十年の苦労もいまとなってはなつかしい。この栄えある十周年を機として、さらに前進することを誓い合いたい。（宮崎県支部長）

修旅の障害を除く全修協

小沢　一郎

修学旅行に子どもを引率した時の、あの瞬時も心を休めることのない三日間。できる限り子どもたちに愉快な、そして深い印象を残してやりたいという職員一同の願い。子どもの気持になって、汽車も、宿舎についても楽しくさせたいというその思いが、どれ程がいろんな障害につき当りながらも進められてきた修学旅行でしたが、全修協が生まれてから徐々に障害がとり除かれ、それらがスムースにはこばれるようになったか、はかりしれないものがあります。

親と教師の願いをうけとめて、子どものために創立された全修協が、十年の歴史を輝かしく積み重ねてこられたことに深い敬意を表し、われわれもさらに発展のために関係者一同協力したいと思います。はるかに十周年の歩みを祝福いたします。（福島県支部長）

意義ある尊い仕事

小西惣二郎

全修協とはいったい何をするところか。協会の内容も使命も全然わからないままに、昭和三十八年五月、私は大阪事務所に奉職した。山本理事長や先任諸君の指導のもとに、大阪事務所としての業務にただ馬車馬よろしく働いていた。

しかし日がたつにつれ、自分のやっている仕事が、ほんとに意義のある教育界への尊い奉仕であり児童生徒の幸福をもたらす仕事であるとしみじみ感得するようになった。同時に偉大な理想と使命感をもってこの協会を創立された先輩諸氏に衷心より頭の下げる思いがする。

修学旅行生のための専用電車、専用船の建造、さては教職員のための研修旅行、修旅研究会など、創立十年の足跡は実に輝やかしいものがある。全修協、今やその名は教育界はもちろん、全国の識者にあまねく知られ、その存在価値を認められるようになった。

さて十周年を契機にさらにどのように伸び、さらに何をするか、これが協会の大きな課題ではなかろうか。（大阪事務所長）

初心忘れず第一歩から

長谷川耕蔵

日本の将来の担い手である児童生徒のために「安全にして快適なしかも希望あふれる修学旅行を」と、十年前に全修協が発足した時石川県では当時、県議会議員として県政に活躍していた内田武雄氏が初代支部長として県支部の組織化に努力を傾注し、伸びゆく全修協の素地をつくりました。次いで金沢市会にその手腕を発揮しておりました市議会議員の増江幸二氏が二代支部長として、県支部発展向上のために尽力され、三代目として私がこれら先輩の努力のあとを引継いで今日にいたりました。わずかの間に三代とかわりましたが、三人とも温い心のふれ合う仲でしたので〃十年一日のごとく〃全修協の目的とするところを目指して歩んできました。

いま十周年を迎えるに当り、喜びをかみしめてさらに次の十年へと〃初心忘れず〃新たな出発をしたいと思います。（石川県支部長）

明確にした自己の使命

大野　稔

旅は命の泉である。幼な子は美にあこがれ、奇を訪ねて迷い子となって泣く。成長するにつれて、迷わずにあちこちする。そしていたるところで喜びを爆発させる。

青年期、壮年期、老年期いろいろの仕事をしたが、命の洗濯をしてくれたのは、何かにつけての旅であった。いろいろな意味で人生は旅である。

縁あって全修協で旅の世話をすることになった。子どもたちのため、先生たちのために命の支えをお手伝いすることは、今の私のよいことの一つである。

私は毎年研修旅行に出た。自ら旅に生きて人にすすめたいのである。男も女も若者は旅を欲求し燃えている。

全修協も十年の旅をつづけて自己の使命を明確にした。ただ一筋に新しい前進をつづけることにある。私も命の泉を肝に銘じて。（愛媛県支部長）

生徒と教職員の利益

開地　茂行

全修協が創立されてことし十周年を迎えたことは誠に同慶にたえません。協会の発足当時から今日の発展をもたらすまでにはその任に当られた幹部の方々の労苦は一様のものでなかったろうと察します。

その間、幾多の困難や支障に遭遇されたであろうが、常に天の時地の利を人の和によって受けとめ遂に今日のゆるぎなきものに築きあげられたことに対してわれわれは全幅の感謝を捧げます。

修学旅行にしても研修旅行にしても、この間に受けた多くの生徒教職員の利益はよく筆舌のつくすところでないと信じます。今後もこの二つの旅行がますます教育的に真にその目的が達成されるよう改善を加え、計画実施され社会一般からも高く評価されるよう祈っております。（山口県支部長）

多くの困難を克服して

佐枝　常一

私が鹿児島県支部長として就任したのは、昭和三十二年四月で、当時は本県教職員の研修旅行としては北海道研修旅行が百名程でありましたが、現在教職員のこの研修旅行の成果が教育面に反映するにつれ、教職員の要求とこの協会の努力によって今では全国各地に研修コースが設営され、本県からも毎年多くの参加者で教育効果の向上を収めていることは周知のとおりであります。

この十年の間、全修協は混雑する輸送対策として修学旅行専用列車を実現、また専用船舶と、多難な問題を一歩一歩解決され、快適な修学旅行、研修旅行が行なわれるようになり、また海外旅行の実現と幅広く発展して来たことに対して、鹿児島県教育関係団体、あるいは教職員が心から感謝しているところであります。本県としましてはこの研修旅行にできるだけ多くの先生方が参加できるよう県当局に対して補助金獲得の陳情を行ない、これが実現に努力する所存であります。十周年を期に全修協がますます躍進し、この目的が十分に発揮できるよう期待し念願するものであります。（鹿児島県支部長）

人間を結びつけるきずな

芦田重左衛門

全修協創立十周年を迎えて痛切に思うことは、何といっても山本理事長の苦心であり、力量であり人柄である。新しいものを生みだし、それを育てあげるということは容易なわざではない。非凡な創造の才能と不退転の努力の連続がなくては成ることではない。

また、事業の生々発展は、その根底に至純な目的意識があってはじめて可能である。しかも全修協という全国組織をゆるぎなく維持し続けるには人間を結びつける強いきずなとしての友情と信頼がなくてはならない。こういうむずかしい条件を完璧に備えた山本理事長の存在が、今日の全修協を築きあげたことをしみじみと思う。

全修協がこの十年になしとげた社会的貢献は実に大きいものがあり、今後の発展にはいよいよ期してまつべきものがある。（監事・京都府支部長）

社会的にも大きな足跡

梅津　正雄

全修協創立十周年を迎えたことを心からお祝い申しあげます。その十年間にわたる全修協の社会的教育的分野における大きな足跡は忘れてならないものがあります。

まず第一には修学旅行の本義を確立したこと、さらに実施上の具体的な研究調査、参考資料の収集とその刊行、実施研究校の指定とその研究会の開催、各地修学旅行委員会の設置促進など、幾多の業績をあげていること。

第二は夏季休暇を利用して教職員の研修旅行を綿密な計画と効果的な運営によって参加者に多大の収獲をもたらしていること。

このような独自な存在理由と使命とをもつ全修協が今後ますます発展するよう祈ってやみません。（秋田県支部長）

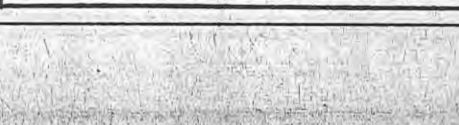
【訂正】前号六面の「修学旅行是非論の是非」下段十行目「なかに」は「ほかに」と訂正します。

異国情緒ゆたかな南山手の
観光史料館
ながさき
異人館
社式会社　国際観光センター
長崎市南山手11
TEL (37) 8580・8590

瀬戸内海を走る
海の社会科教室
修学旅行専用船
★ わかば丸
★ ふたば丸
お問合わせは
関西汽船
大阪 (441) 9161 (代表)

特許
アロー・ピッチング・マシン
★類似品にご注意下さい
株式会社　コリー商事
台東区東上野2―15―2
電話 (831) 7440

修学旅行は
日本最大の豪華観光船「ふじ」で



団体専用船「ふじ」が昭和40年8月に就航しました。科学の粋を集めた画期的な最新鋭船です。生徒達の心にいつまでも残るユニークな修学旅行をお約束します。
みなさまのスケジュールにあわせて全国各地のどの港へもご案内できます。

完全冷暖房、明るい船室、豪華なサロン、ローンジ、広いプロムナードデッキ、娯楽室、浴室

トン数……3,000トン型
速　力……20.04ノット
定　員……1,800名

Ⓐ 大島運輸株式会社

お問い合わせは
東京事務所
東京都中央区晴海町5の7
TEL (531) 9211(代表)